

箱根土曜塾からのお知らせ No. 3

～「箱根土曜塾」の教材について～

箱根土曜塾では、学力に応じて、受講生を6つのグループ（5～6名）に分けて実施しています。受験対策を熟知した講師たちが各グループを担当し、受講生に合わせたプログラムで授業を行っています。

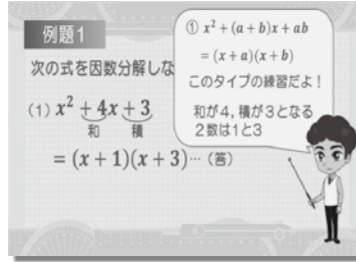
プログラムは、土曜塾開講期間の半年間で中学校3年分を効率的に復習しながら高校入試に照準を合わせていく内容です。

授業では1人1台タブレットを使い、オンライン学習システムと箱根土曜塾専用のオリジナルのテキストを駆使し、問題演習を繰り返し行っています。

演習後に、講師が解説を行った後、演習問題の答えを受講生が発表したり、受講生同士で教え合ったりと積極的に授業に参加することで理解の定着を図っています。

また、オンライン学習システムは、箱根土曜塾で主に学習する英語・数学だけでなく、理科・社会・国語の学習もカバーできるので、5教科をバランス良く、自分に合ったスピードで計画的・継続的に学習を行うことができます。

自宅にインターネット環境とパソコンやタブレット端末があれば、開講期間中には学校の授業の予習・復習だけでなく、定期テスト対策としても活用できます。



箱根土曜塾についての詳細は、学校教育課まで！ ☎85-7600

箱根町『分離型』一貫教育のはなし

《ICT活用推進編》

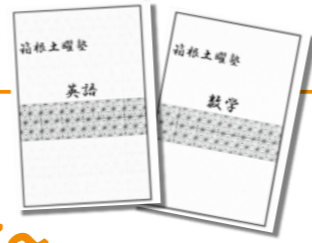
ICTとは、Information and Communication Technology の頭文字をとった言葉で、パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のことです。

分離型の一貫教育を始めるにあたり、平成29年度からICT環境を計画的に整備しており、児童・生徒・教職員用タブレット端末や、児童・生徒が使用する学習支援ソフトなどを段階的に導入してきました。

さらには、各普通教室と特別教室に大型ディスプレイと無線LAN設備を整備したことにより、教職員が効果的にデジタル教材を活用した授業を展開することが可能となり、児童・生徒にとって分かりやすい授業にもつながっています。

また、教職員用に校務支援システムを導入したことにより、児童・生徒の出欠管理や成績処理など、様々な校務処理が効率化され、教職員の働き方改革の一助にもなっています。

今後も、ICTを活用して、児童・生徒一人ひとりの能力や特性に応じた学びを推進し、引き続きICTを効果的に活用しながら、児童・生徒と教職員がともに使いやすく、学習に役立つ環境を整備していきます。



新就学児童の 保護者の皆様へ

来春小学1年生になるお子さんを対象に、健康診断を実施しますので、必ず受診してください。

対象の生年月日 平成28年4月2日～平成29年4月1日

就学先（兼会場）・健診日

・湯本小学校・10月6日(木)

・箱根の森小学校・11月2日(水)

・仙石原小学校・10月27日(木)

その他 該当する家庭には、通知を郵送しますので、通知が届かない場合や、当日、都合が悪く欠席する場合は連絡してください。

照会先 教育委員会学校教育課 ☎8517600

親子で楽しむ アウトドアアクッキング

アウトドアアクッキングツールを使い、みんなで作って、みんなで食べて、交流を深めましょう。食事の後はネイチャーゲームで自然と楽しく触れ合います。

パティ、スパイスたっぷりスリランカ豆カレー、甘酒りんごのラッシー

対象 町内在住・在勤の子育て家庭の方（子どもは小学生まで）

場所 箱根やすらぎの森

託児 なし

日時 10月23日(日)10時30分～15時(予定)

定員 親子30人程度 (定員を超えた場合は抽選)

※1 大人だけの参加不可

※2 1家族大人子ども合わせて5人まで

申込期間 10月6日(木)まで

申込方法 WEBの申し込みフォームから受け付けます。



※内容が変更となる場合がありますので、詳細についてはホームページを確認してください。

照会先 子育て支援課 ☎8519595

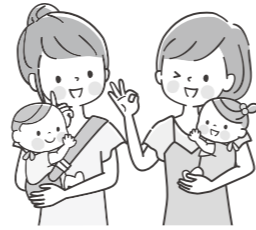
「子育てシェアタウン」 ヒアリングスタート

この事業では、子育て世帯どうしや、お子さんのお世話なら任せて！というような地域の人がイベントやアプリを通じて、緩やかにつながり、安心して気兼ねなく頼り合い、町全体で子育てを支え合うまちづくりを行っています。

まずは、子育て世帯のニーズに合ったものとなるよう、子育て世帯や地域で活躍されている方々へのヒアリングをスタートしました。

今後は、子育て人材の発掘・育成、イベント開催など地域の皆さんの力が必要となります。かけがえのない子どもを、町全体で育んでいく子育てシェアタウンにぜひ参加してください。

照会先 子育て支援課 ☎8519595



「家庭教育を考える」 ～地域でささえる・地域へつなぐ～

仙石原小学校の一日は、森の鳥たちのさえずりと、子どもたちの元気な挨拶で始まります。通学路よりも少し高いところにある校舎へ上るための階段の前で、毎朝、立っていると、子どもたちが挨拶してくれます。近くの幼児学園まで聞こえそうなくらい大きな声で挨拶する子。階段を急いで駆け上がりながら挨拶をする子。私の目を見て、丁寧にお辞儀をしながら挨拶する子。人それぞれ挨拶のしかたには個性が見られますが、全員が「挨拶をするのは当たり前なんだ。」という意識をもってしているように感じます。

本校では「あかるく げんきに、いつでも どこでも だれにでも、さきに、つたえるきもちで」を合言葉に、挨拶の指導をしています。しかし、学校の力だけでは、一朝一夕に身につくことではありません。小学生にとって、言葉で伝えただけで行動に移すというのはなかなか難しいことで、近くによくお手本があると、真似をして自然とよい行動ができるようになるのです。きっと、ご家庭や地域でも日頃から挨拶の大切さを伝え、大人同士が挨拶し合う姿を実際に見せてくださっているからだと思えます。

登下校の子どもたちの安全を交差点などで見守りながら、挨拶をしてくださっている地域の方々。子どもたちと一緒に登校しながら声をかけてくださっている保護者の方々。本当にありがとうございます。これからも、多くの方々にご支援・ご協力をいただきながら、子どもたち一人ひとりを大切に育てていきたいと思っています。

仙石原小学校 ☎84-8049

照会先 教育委員会生涯学習課 ☎85-7601